

出張報告書

下関市議会議長殿

令和 2年 11月 15日

職氏名 市議会議員 前東 直樹	用務 中核市サミット2020 in 倉敷に参加
期間 令和 2年 10月 29日から 令和 2年 10月 29日まで	出張先 岡山県倉敷市本町7-2 倉敷アイビースクエア

意見・調査事項

中核市市長会・倉敷市主催「中核市サミット2020 in 倉敷」

地域を創り、地域に生きる ～中核市が育む日本の力～

基調講演

講師 東京大学大学院情報学環 特任教授・日本災害情報学会会長 片田 敏孝 氏

演題 『頻発・激甚化する災害から「生き抜く」ために』

パネルディスカッション

第1会場 『災害から「生き抜く」ためのまちづくり』

《コーディネーター》 岡山大学地域総合研究センター長 三村 聡 氏

《コメンテーター》 片田 敏孝 氏（前出）

《パネリスト》 中核市市長（倉敷市・呉市・長野市・福島市・いわき市）

【ねらい】

- ・基調講演を行った片田敏孝氏は、長年にわたって防災研究に携わってこられた方で、東日本大震災において「釜石の奇跡」と呼ばれた実践的な防災教育の第一人者である。我が党において「防災減災ニューディール」政策を展開した際にもご協力をいただいたこともあり、私自身が政治の世界に飛び込むきっかけを作ってくくださった方である。今回、コロナ禍の最中ではあったが、近隣の中核市サミットにおいてご講演をされると伺い、自身の取り組みの一助にたく受講した。

【意見等】

- ・氏は講演の中で、毎年続く豪雨災害への対策として、根本的な視点として「行政の限界を知ること」を強調。自身の防災力の向上と、地域力のアップが重要である事を指摘された。そして、行政と住民との関係を一方向ではなく、相互補完関係であることを市民全体が認識していくことが防災の要である事を示された。
- ・現在、自身の活動として、下関市における防災に関する地域力向上に努めているが、改めて視点を再認識し、今後の取り組みに活かしていきたい。

以上